

【質問】デスロラタジンの作用機序は？

【回答】

デスロラタジンは、H₁ 受容体においてヒスタミンとの拮抗作用を示し、各種刺激によるヒスタミン遊離抑制 (*in vitro* [花粉症又は非花粉症由来ヒト末梢血白血球])、IgE 受容体の架橋によるヒスタミン遊離抑制、並びにロイコトリエン C₄ 及びプロスタグランジン D₂ 産生抑制 (*in vitro* [ヒト肺組織由来肥満細胞])、炎症性サイトカイン産生抑制 (*in vitro* [HMC-1 細胞、KU812 細胞、ヒト末梢血好塩基球])、血管内皮細胞の接着因子発現抑制及び炎症性サイトカイン産生抑制 (*in vitro* [HUVEC]) などの抗アレルギー性炎症作用が考えられます。

出典：インタビューフォーム